

公益社団法人 全日本郷土芸能協会



JAPAN FOLK PERFORMING ARTS ASSOCIATION

会 報

第 83 号 (2016 年 薬号)

全郷芸 〒106-0032 東京都港区六本木 4-3-6 三河台ハイツ 206

TEL 03-6434-9434 FAX 03-6434-9435 HP <http://www.jfpaa.jp/> E-mail info@jfpaa.jp

平成 28 年 4 月 25 日 発行

発行 (公社)全日本郷土芸能協会 編集 城井智子 西田昌代 小岩秀太郎 購読料 年間 2,000 円 (送料込)

おんばしら 諏訪大社の御柱祭り

長野県岡谷市、諏訪市、茅野市、
諏訪郡下諏訪町、同郡富士見町、同郡原村



〔撮影 個人会員 萩原弘幸氏〕

寅年、申年に開催される御諏訪大社の式年造営大祭。宝殿の建て替え、御柱の選出、山からの曳き下ろし、境内の四隅に建てるといった一連の行事を示す。諏訪大社は諏訪湖を挟んで上社(本宮・前宮)と下社(春宮・秋宮)の四社からなり、祭りはその6市町村の氏子衆が参加する。

「御柱」に選ばれるのは16本のモミの木で、御小屋神林の管理と伐採にあたる(山づくり衆)によって、枝を落とされ、皮をはがされる。本宮一の柱が一番長く16・5メートルにも及ぶ。

4月の「山出し」では、それぞれの御柱ごとに2千を越える氏子が引き綱を手にし、木遣り歌などを奉じて曳きだす。見せ場である「木落とし」では、御柱の上やヘドテコ(御柱の角のようにつけられた木の棒)に無数の若者がまたがり、数十メートルもの断崖を共に曳き落ちていく。土煙舞う、勇壮かつスリリングな様に、見守る観客から思わず歓声とも悲鳴ともつかない声が上がります。

5月の「里曳き」にて、御柱はいよいよそれぞれの宮へとおさめられていく。騎馬行列や長持ち行列、花笠踊り、龍神の舞などが彩る道中は華やかそのもの。柱が境内の四隅に設置され、建て方音頭の中徐々に直立していく様には拍手が沸き、長きにわたる大祭は最高潮のクライマックスを迎える。

(2016年 御柱祭り日程)

上社	山出し「木落とし」	4月2日(土)	4日(月)
	里曳き「建御柱」	5月3日(火)	5日(木)
	宝殿遷座祭	6月15日(水)	
下社	山出し「木落とし」	4月8日(金)	10日(日)
	里曳き「建御柱」	5月14日(土)	16日(月)
	宝殿遷座祭	5月13日(金)	

※全郷芸会員 御諏訪太鼓保存会(長野県 古屋邦夫代表) 4月5月を通じ御諏訪太鼓の奉納。祭礼へと力を注いでいる。

撮影者一言コメント 私の前回、6年前、諏訪御柱祭の最後を飾る「建御柱」を上社前宮で見学したましたが、この日は五月晴れに恵まれ大勢の氏子や観光客の皆さんの前で御柱4本が次々と建てられていきました。諏訪大社の神様もたいそうお喜びになられたのではと想像しながら晴れやかな気分での帰路につきました。

日本のことば(薬 ひこばえ) = 樹木の切り株や根元から生える若芽。

日本のいろ(鶺鴒黄 ひわもえぎ) = 鶺鴒(マヒワ)は黄色が強い黄緑色の羽毛の鳥。鶺鴒で緑が強い色が鶺鴒黄である。新緑を指す萌黄よりも黄色が強い黄緑。

県指定無形民俗文化財